

あなたの暮らしの希望を
公共交通で叶えます！

全5回

まちづくりと交通の広場しが2025

まちと交通の 未来づくり フォーラム

ずっと住みたい幸せのまちをめざして

「ずっと住みたい」と思えるまちは、どんなまち？

暮らしやすさ、生きやすさ、幸せは、

「移動」を軸に考えると見えやすくなってくる！

先進事例を聞いたり、まちに繰り出したり。

5つのプログラムを通して滋賀の交通の未来を

一緒に考えましょう！

滋賀の公共交通 未来アイデア会議 連動企画

第1回フォーラム(全体会)

「住み続けられる まちと交通」

定員

80名

日時

2025.
8.23(土) 13:30~16:30

会場

草津市立市民交流プラザ
大会議室
(JR南草津駅東口フェリエ南草津5階)

参加費
無料

講演「住み続けられるまちを支える交通の話」

藻谷 浩介さん (地域エコノミスト、(株)日本総合研究所 主席研究員)

報告「滋賀県の交通問題 地域交通ワークショップから」

佐々木 和之さん (びわこ学院大学非常勤講師、水色舎代表
滋賀地域交通ワークショップ コーディネータ)

トークライブ「ずっと住みたい幸せのまちを目指して」

藻谷 浩介さん (地域エコノミスト)
楠田 悦子さん (モビリティジャーナリスト)
塩見 康博 (立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授)
進行: 宇都宮 浄人 (関西大学経済学部教授 / やさしい交通しが代表)

フィールドワークで地域とつながろう！

～彦根、日野、草津をモデルに～



藻谷 浩介さん



朝のラジオア
おなじみ!

総合司会: 井上 麻子さん
(ラジオパーソナリティ)



楠田 悦子さん

主催: 人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀 (やさしい交通しが)

協力: 滋賀県、大津市市民活動センター、おおつ交通まちづくり推進会、(一社)滋賀グリーン活動ネットワーク・エコ交通研究会、しがローカル SDGs 研究会、アーバンデザインセンターびわこ・くさつ (UDCBK)、輪の国びわ湖推進協議会

後援: 滋賀県地球温暖化防止活動推進センター、草津市、彦根市、日野町

詳細、お申し込みは
右の二次元コードから



クルマ中心の暮らしを選択する人が増え、バス路線が減りゆく中、滋賀県では現在「地域交通計画」策定に向けて準備が進められています。県民からは公共交通が不便であることに多くの不満の声が寄せられています。公共交通のあり方については「日本の常識は世界の非常識」と言われています。では、私たちはこれからの滋賀の常識をどうつくる？ ずっと住み続けられる幸せなまちを目指して、一緒に考えてみましょう。



藻谷 浩介さん

(地域エコノミスト、(株)日本総合研究所 主席研究員)

山口県生まれの 61 歳。平成合併前の全 3,200 市町村、海外 142 カ国を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握。日本全国の鉄軌道全線に乗りこえており、カーシェアやレンタカー、バス、船なども日常的に利用。地域振興、人口成熟問題、観光振興などに関し研究・著作・講演を行う。2012 年より (株)日本総合研究所主席研究員。著書に『デフレの正体』、『里山資本主義』(共に KADOKAWA) など。近著に、毎日新聞「時代の風」欄連載をまとめた、『誰も言わない日本の「実力」』(毎日新聞出版)。

楠田 悦子さん

(モビリティジャーナリスト)

兵庫県生まれ。京都外国語大学卒業後、自動車新聞社に入社。モビリティビジネス専門誌「LIGARE」創刊編集長となる。2013 年にモビリティジャーナリストとして独立。国土交通省の「自転車の活用推進に向けた有識者会議」、「交通政策審議会交通体系分科会第 15 回地域公共交通部会」などの委員を歴任。スタートアップ経営のためのヒントやナレッジを発信するメディア「DIMENSION NOTE」元編集長。グロービス経営大学院英語 MBA 卒業。

塩見 康博

(立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授)

2008 年 9 月 京都大学大学院 博士後期課程 修了。京都大学博士 (工学)、京都大学大学院 助教、デルフト工科大学 客員研究員などを経て 2022 年 4 月より現職。専門は交通工学・交通計画。2024 年より滋賀地域交通活性化協議会の会長を務める。



宇都宮 浄人

(関西大学経済学部教授 / やさしい交通しが代表)

日本銀行勤務を経て 2011 年から現職 (2017 年度はウィーン工科大学客員教授)。専門は交通経済学、経済統計学。2000 年代半ばから「人と環境にやさしい交通をめざす協議会」に参画し、地域公共交通活性化再生法や交通政策基本法の成立に向け活動。



連続講座の第 2・3・4 回は、お好きな地域のフィールドワークへ！

彦根

公共交通を活かした
観光まちづくり

定員 20 名
参加 無料

会場：彦根コミュニティカフェ On Your Mark

<第 2 回>9.7 日

「彦根の観光と公共交通を知ろう」

<第 3 回>9.21 日

「実際に乗ってあちこちめぐってみよう」

<第 4 回>11.23 日

「作った観光プランを実施してみよう」

日野

駅を中心ににぎわう
まちづくり

定員 20 名
参加 無料

会場：日野駅舎なないろ

<第 2 回>8.21 木

「まちをめぐって日野の交通を考えよう」

<第 3 回>9.11 木

「駅起点のまちづくりのすすめかた」

<第 4 回>10.12 日

「駅起点の地域活性化イベントを企画・実習しよう」

草津

誰もが暮らしやすい
まちづくり

定員 20 名
参加 無料

会場：キラリエ草津ほか

<第 2 回>10.19 日

「自分のまちと課題をもっと知ろう」

<第 3 回>10 月～11 月 (日程未定)

「暮らしと交通の現場を見に行こう」

<第 4 回>11.9 日

「未来のまちをみんなで描こう」

第 5 回フォーラム(全体会)

「自分たちでつくる、 住み続けたいまち」

定員 80 名
参加費 無料

日時 2025. 11.30 日 14:00～17:30

会場 彦根勤労福祉会館 4 階大ホール
(彦根市大東町 4-28 JR 彦根駅から徒歩 5 分)

総合司会：井上 麻子さん (ラジオパーソナリティ)

講演「移動貧困からの脱却 ～誰もが困らないで移動できる社会とは？～」

楠田 悦子さん (モビリティジャーナリスト)

滋賀地域交通ワークショップ報告

佐々木 和之さん (びわこ学院大学非常勤講師、水色舎代表
滋賀地域交通ワークショップ コーディネーター)

彦根、日野、草津フィールドワーク報告

トークライブ「住み続けたいまちと交通」

楠田 悦子さん (モビリティジャーナリスト)
今 佐和子さん (国土交通省都市環境課 課長補佐)
南村 多津恵 (滋賀地域交通ワークショップ ファシリテーター)
滋賀県
進行：宇都宮 浄人 (関西大学経済学部教授)

ワークショップ「暮らしたい未来のまちを考えてみよう」

コーディネーター：上田 洋平 (滋賀県立大学 特任講師)



楠田 悦子さん



佐々木 和之さん



今 佐和子さん



上田 洋平

人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀 (やさしい交通しが)

事務局：滋賀県大津市大萱二丁目 8 番 3 号 502 室
Email: yasashii.kotsu.shiga@gmail.com TEL: 080-6717-0448 (山田)

詳細、お申し込みは

右の二次元コードから

